## 広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

## 1 五類定点疾患別週報情報

平成18年第29调(7月17日~7月23日)

_					1 4	ו ,עכו	0十年~3週( / .	/ 」 ' /	_ ′	/ 」 ~	J = I
疾患No	疾患名	週間 発生数	定点 当り	過去 5年 平均	発生 記号	疾患No	疾患名	週間発 生数	定点 当り	過去 5年 平均	発生 記号
1	インフルエンザ	2	0.02	0.00		12	ヘルパンギーナ	162	2.25	3.67	<b>&gt;</b>
2	RSウイルス感染症	0	0.00	-		13	麻しん 2	2	0.03	0.08	
3	咽頭結膜熱	79	1.10	0.62	$\Diamond$	14	流行性耳下腺炎	61	0.85	1.16	$\bigcirc$
4	A 群溶血性レンサ球 菌咽頭炎	93	1.29	0.65	$\widehat{\Box}$	15	急性出血性結膜炎	1	0.05	0.07	
5	感染性胃腸炎	244	3.39	2.90	$\langle \rangle$	16	流行性角結膜炎	24	1.26	1.23	$\bigcirc$
6	水痘	54	0.75	1.06	$\langle \rangle$	17	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	29	0.40	7.25	$\Diamond$	18	無菌性髄膜炎	5	0.24	0.72	
8	伝染性紅斑	23	0.32	0.26	<b></b>	19	マイコプラズマ肺炎	10	0.48	0.15	$\qquad \qquad \Box \\$
9	突発性発しん	49	0.68	0.81	$\Rightarrow$	20	クラミジア肺炎 3	0	0.00	0.00	
10	百日咳	2	0.03	0.01		21	成人麻しん	0	0.00	0.00	
11	風しん	1	0.01	0.01		-	「過去 5 年間の同時	期平均	(定点	あたり	)

伝染性紅斑 急減(61件 23件)

| 「過去5年間の同時期平均(定点あたり) 報告数が少数(10件未満)の場合,発生記 号は記載していません。

- 1 高病原性鳥インフルエンザを除く。
- 2 成人麻しんを除く。
- 3 オウム病を除く。

急増減	増減	微増減	横ばい
1	•	$\Diamond$	
1	<b>&gt;</b>	$\Diamond$	<u> </u> √
前週と比較しておおむね 1:2以上の増減	前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減	前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減	殆ど増減なし

## 2 一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況

一類感染症 発生なし

二類感染症 細菌性赤痢1件

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 件

四類感染症 発生なし

五類感染症(全数) ウイルス性肝炎(B型)1件,急性脳炎1件,梅毒1件,